



NO. 276

2016. 6. 15

社会福祉法人 大阪市手をつなぐ育成会

大阪市天王寺区東高津町12-10

大阪市立社会福祉センターB1F

発行責任者 小泉 いと子

TEL 06(6765)5621 FAX 06(6765)5623

<http://city-osaka-ikuseikai.or.jp>

定価 10円

大阪市手をつなぐ育成会 法人理念

障がいのある人が 安心して 心豊かに すごせるように

平成27年度事業報告について

平成28年5月23日(月)に理事会・評議員会が開催されました。そのなかの議案として平成27年度事業報告書(案)が承認されております。ここではその内容の一部をご報告します。

事業概要 (一部抜粋)

当法人では平成22年度の法人総体での赤字決算を受け、その後約6年をかけ、各種事業の見直しや施設経営上の課題解決を進めてきました。

平成27年度では、一部は26年度に実施していましたが、各事業所の修繕工事を行いました。東成、港、福島の建物については、開設以来一度も全体を対象とした修繕工事を行って来ていませんでした。26年度に実施した福島育成園での空調設備入れ替えにあたり、建物診断を入れたところ各事業所の外壁塗装の耐用年数が超過していることが判明し、27年度に一斉に改修工事を実施しました。今後も引き続き修繕計画に基づき各所の修繕や機器の更新を行っていきます。

また、職員の資質の向上を目指す組織としての研修企画委員会では、新任職員研修や主任ならびに副主任を対象とした研修会を実施しました。従来は事務局主導で研修の企画や講師選定を進めてきました。そのため、職員にとっても受け身的な姿勢での受講となっていましたが、研修企画委員会が主催をしたことにより、現場で必要と感じていた課題を研修テーマに据えることにより、自発的な研修を実施することができました。今後も引き続いて職員のスキルアップを図っていきます。

この他には、25年度より試行的に職員の目標管理を実施しています。その基盤となる法人理念や行動指針を策定しておりましたが、職員のあるべき姿が具体的でなく、職員個々の捉え方にバラつきがあ

りました。そのため、育成会が求める人物像の基準作りとして、各事業所長を中心として検討した結果、年度末にはセルフチェックシートを作成することができました。今後は、このシートを活用して職員自身が自己診断をすることにより、意識をしながら業務にあたる事を目指します。

27年度では様々な取り組みを進めてきた結果、課題解決に向けた改善策の検討方法や実施方法については軌道に乗りつつあります。今後も継続してハード面では計画的な施設修繕、ソフト面では職員のスキルアップや新規学卒者を中心とした人材確保を行い、将来に渡り安定した法人経営ができるように種々検討を図っていきたくと考えています。

障害福祉サービス事業

- ア 東成育成園の経営
(生活介護25名 就労継続B型25名)
- イ 港育成園の経営
(生活介護40名)
- ウ 港第二育成園の経営
(就労移行支援20名 就労継続B型20名)
- エ ワークスいけじまの経営
(就労継続B型20名)
- カ 福島育成園の経営
(生活介護100名 施設入所支援40名)
- キ 居宅・移動支援等事業
(移動支援・居宅介護・重度訪問介護・行動援護)
- ク 共同生活援助事業(メープル、ビーンズ)
- ケ 短期入所事業(福島育成園、メープル)
- コ 相談支援事業(東成育成園・福島育成園)
- サ 日中一時支援事業(東成・港・港第二・福島)

各種福祉事業

- (1) 知的障がい児親子通所事業(大阪市委託)
- (2) 障がい児等療育支援事業(大阪市委託)
- (3) 障がい者就業・生活支援センター事業